

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330311084	こども表現(図画工作A) Child Expression (Arts and Crafts A)	加藤 万也	○	専門	1	選択	1前期

科目の概要

この授業では、幼稚園教諭・保育士としての知識技能を合わせ持ち、それらを主体的・創造的に活用することができるようにするために、主に「平面造形」における基礎的造形力を養うことを目的に課題制作を行う。公立学校の講師を20年以上勤め、図画工作教育の経験があり、図画工作における制作指導について、絵画指導の経験を生かした授業を行う。
表現伝達のための工夫や平面造形における基礎知識を学び、描画表現や平面構成の面白さや魅力について理解していく。またそれらを発展させて、美術的要素以外の日常的な課題によって造形感覚を磨き、表現全般の意義を理解する。なおこの授業では、授業で指定した作品によって評価をするので、定期試験は行わない。

学修内容	到達目標
① 主にスケッチブックを使って、描画および様々な技法について体験修得する。 ② 色彩についての知識を学び、彩色を施すことによって体験修得する。 ③ 計画的に制作する手順を修得する	① 制作を楽しみながら構成を理解し、応用発展させることができる。 ② 制作をしながら、子どもを指導する状況を想定し、面白さを伝えることができる。 ③ 計画性をもって制作を進め、時間内に完成することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題の意図を理解し、積極的に制作をすることができる。
	働きかけ力	グループでの制作において、周囲の規範となるような行動をとることができる。
	実行力	制作説明において、重要なことをメモに残すことができる。
考え抜く力	課題発見力	制作手順においてわからないことを自己判断で遂行せず、質問をすることができる。
	計画力	時間内に作品を完成させるため、どういう手順が必要かを計画できる。
	創造力	クラスメイトの作品や参考作品を参照して、オリジナルのための工夫をすることができる。
チームで働く力	発信力	自分の作品のポイントを理解し、それを発表することができる。
	傾聴力	課題の意図を理解するために、注視して説明を聞くことができる。
	柔軟性	見本にとらわれず、自分なりの考えで制作をすることができる。
	状況把握力	自分の周りで制作に行き詰まり困っている人がいたら、手助けをすることができる。
	規律性	提出期限を守り、制作後の片付けをしっかりとすることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。毎回の授業でプリントを配布する。
参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領

他科目との関連、資格との関連

「こども表現(図画工作A)」は、学科専門科目群の幼・保領域の中の「保育の内容・方法に関連する科目」に配置されており、保育内容の5領域(特に「表現」)に関連する科目である。次に履修する「こども表現(図画工作B)」の基礎的科目である。
また、保育士と幼稚園教諭1種の資格に関連する科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
身の回りのいろいろな平面表現に対して積極的に興味を持ち、造形の意義などについて関心を持つことが重要です。また授業で毎回配布されるプリントは将来見直すことができるように、ファイルなどを用意して一括して整理するようにしてください。	授業開始後の無断入室は禁止です。楽しく制作することは良いですが、私語が甚だしい場合は退室してもらったこともあります。制作に集中してください。スマートホンなどを画像参考として使用する場合は、必ず事前に許可を得るようにしてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓	1、作品課題の意図を理解し、それを応用発展させて、発表できる。 2、子どもの指導という観点で考えたことを踏まえて、自分の意見を言える。 3、見本の通りに作るのではなく、オリジナリティーを作品に込めることができる。 上記を踏まえた上で、完成度に応じて評価する。 60点：完成度が高く、作品に工夫が見られる。 40点：完成はしているが、作品に工夫が見られない。 20点：作品の完成度が低い。		
			②	✓			
			③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）制作に対し、積極的に取り組める。 （働きかけ力）グループ制作の場合に、周囲と協働できる。 （実行力）制作説明において、重要事項をメモすることができる。 （課題発見力）制作においてわからないことは質問できる。 （計画力）時間内に完成させるための時間配分計画ができる。 （創造力・柔軟性）オリジナリティーを發揮させた作品に仕上げることができる。 （発信力）自分の意見のポイントをまとめたうえで発表できる。 （傾聴力）作品課題の意図を正確に理解できる。 （状況把握力）困っている人がいれば、その人の手助けができる。 （規律性）提出期限を守り、制作後の道具の返却、教室の清掃ができる。	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①作品の意図を理解した上で、自分独自のアイデアを盛り込み、完成度の高い作品を作ることができる。 ②発表において、自分のアイデアを伝わりやすく述べる ことができる。 ③子どもの指導という観点を持って制作できる。 ・上記3点を十分に發揮した場合A評価とする。 ・それ以上に、特に優れている場合S(秀)評価とする。	左欄のA評価ほどの到達がないとしても、自分なりに精一杯頑張って制作し、発表することができた場合B評価とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<オリエンテーション> ・受講についてのルール説明 ・社会人基礎力のチェック ・発想の方法についての説明	講義 ディスカッション	受講ルールを理解できる 発想についてレポートをまとめることができる。 (レポート提出)	(予習) 学泉ノートを熟読しておく (復習) 身の回りになる気になるデザインを再考する	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
2	<文字の拡大> ・任意の文字を拡大し、装飾文字を作成する。	演習 作品制作	課題プリントの全てにおいて、付与課題をこなすことができる。 (プリント提出)	(予習) 自分が得意とするキャラクターの絵を描く (復習) プリントでの学びを自宅で再度練習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
3	<色画用紙で動物> ・色画用紙の切り抜きのみで、かわいい動物(平面)を制作する。	演習 作品制作	基本形での動物・人物の制作ができる。 (課題作品の提出)	(予習) 壁面装飾で動物を用いたものの写真を用意しておく (復習) かわいい動物にするための探求をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
4	<フロッタージュ> ・フロッタージュ技法を用いて、学内のいろいろな模様を採取し、構成する。	演習 作品制作	多種の模様を採取でき、それを生かした制作ができる。 (課題作品の提出)	(予習) フロッタージュとは何かを記述する (復習) 各自で作品を完成させる(次回課題提出)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
5	<ペン画> ・ペン画の基本を学び、プリント内の空欄を習得した技法で描画する。	演習 作品制作	プリント内の空欄を、習得技法で埋めることができる。 (課題作品の提出)	(予習) ペン画の歴史と特徴を調べて記述する (復習) ペンを使った描画で、自分の気に入ったモチーフに挑戦してみる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
6	<フォトグラデーション> ・雑誌のカラーページを切り抜いて、色相ごとにグラデーション配置をして作品にまとめる。	演習 作品制作	色について正確なグラデーションを制作できる。 (課題作品の提出)	(予習) カラー写真が多用された雑誌を用意する (復習) 各自で作品を完成させる (次回課題提出)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
7	<混色の基本> ・スケッチブックにて、混色見本に合わせた色を作り、着色する。	演習 作品制作	カラー見本に合わせた着色ができる。 (課題作品の提出)	(予習) 色の名称を辞書で調べ記述する (復習) 各自で作品を完成させる (次回課題提出)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
8	<マンセルの色相環> ・「マンセルの色相環」を制作する。	演習 作品制作	混色技術を理解し、実践できている。 (課題作品の提出)	(予習) 明度・彩度・色相について調べ記述する (復習) 完成するまで制作を進める	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<葉っぱの実写> ・学内で収集した落ち葉を見本に、混色技法によって正確な着彩をする。	演習 作品制作	モチーフに対して正確に色を捉えて再現できる。 (課題作品の提出)	(予習) 前回のマンセル色相環を元に、混色の基礎知識をまとめる (復習) 完成するまで制作を進め、シート記述を終える	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
10	<ぬらし絵> ・シュタイナーの「ぬらし絵」を体験する。 ・この実践をもとに、保育指導案を作成する	演習 作品制作	感覚と描画について理解することができる。 (課題作品の提出)	(予習) シュタイナー教育について調べて記述する (復習) シュタイナーのぬらし絵についての実践例を「指導案」として作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
11	<ぬらし絵紙芝居> ・前回の授業で制作したぬらし絵をもとに、グループでストーリーを構成する。	グループワーク シナリオを考案する	イメージ感覚を理解した紙芝居を作ることができる。	(予習) グループでぬらし絵を鑑賞し合う (復習) ぬらし絵紙芝居のシナリオを完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
12	<抽象紙芝居> ・前回の授業で作成した紙芝居を、スクリーンに投影させて発表する。	演習 グループワーク 発表	全体構成を踏まえ、自分の役を演ずることができる。	(予習) グループで制作したストーリーに合わせた発表練習を行う。 (復習) 他グループの発表に対する感想シートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
13	<はじき絵> ・油性画具と水性画具の反発を利用した描画練習をする。	演習 作品制作	はじき絵の技法を理解した作品ができる。 (課題作品の提出)	(予習) 油性画具と水性画具の違いをまとめる (復習) 各自で完成まで制作する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
14	<多種の平面描画> ・様々な技法での描画を楽しむ。	演習 作品制作	3種類の特殊描画技法を習得できる。 (課題作品の提出)	(予習) ひっかき絵の制作について技法をまとめる (復習) 吹き流し絵とデカルコマニーについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
15	<ボーダーシャツ> ・ストライプのカラーによって、シャツ柄を構成する。	演習 作品制作	色のコントラストを理解できた作品を提出できる。	(予習) ストライプの例となる彩色を用意する (復習) 作品完成まで各自で制作をする	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力